

神谷美恵子著作集 1 生きがいについて (1980年)

神谷美恵子

著作集 1

生きがいについて

みすず書房

出版: みすず書房

著者: 神谷 美恵子

ページ: 288

PDF

神谷美恵子著作集 1
生きがいについて
神谷美恵子 (著)

判型：四六判
ページ数：288
1980年6月25日第1刷
みすず書房
刊行時定価（税別）1,100円

著者は津田英学塾在学中にキリスト教の伝道者であった叔父にさそわれて多磨全生園を訪れ、はじめてらいの存在を知った。同じ世に生をうけて、このような病に苦しまなくてはならない人びとがあるとは、いったいどういうことなのか、心の深いところで自分の存在がゆさぶられるような衝撃を受けた著者は、できることなら看護婦か医師になってこの人たちのために働きたいと願った。そして周囲の反対にも辛抱よく時を待ち、ようやく医学部に進学を許されたその女子医専時代の夏休みに、長島愛生園をたずねて「なぜ私たちでなく、あなたが？あなたは代わって下さったのだ」と詩に書いている。現実生活の荒波や自身の病をのり越えてその初志を貫いた著者は、終生を実践活動にささげた、らいであるだけでなく精神をも病む人びとにとって、著者のあたたかさや知性と努力が、どれほど支えになったことであろうか。

患者さんに接している間に、同じ闘病者のなかで半数以上は希望をもっていないが、しかし少数の生きがいを感じる人びとを見いだした。著者にとって以前からの関心であった生きがいの問題がこれを契機に深められることになる。治療、考えること、および書くことは、著者の「ほんとうにやりたいこと」であった。『生きがいについて』はこうして生まれた。少しのてらいもなく、自然に流れるように語られるこの本は、みずみずしい著者の魂の書として、永遠にひとを慰め力づけることであろう。

（詳細は商品画像参照）

<http://yep.pm/75vq3xVd5/XDBqsHCCO.pdf.rar>

